
**医療と介護の連携推進業務委託
報告書**

令和8年3月
日野市健康福祉部高齢福祉課

(このページは白紙です)

目次

0	業務の概要	1
0-1	業務の目的.....	1
0-2	業務の進め方.....	1
1	日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会の開催	3
1-1	会議の概要.....	3
1-2	各回の内容.....	4
2	多職種協働による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援	9
2-1	勉強会の開催状況.....	9
2-2	各会の内容.....	10
3	地域住民への普及啓発の実施支援	17
3-1	作業の概要.....	17
3-2	在宅療養ウィークの開催結果.....	19
4	多職種連携ルールの更新	29
4-1	作業の概要.....	29
4-2	ルールの更新内容.....	30
5	国、東京都・他自治体の取組等の情報提供	37
5-1	情報提供の実施状況.....	37
5-2	情報提供の具体的な内容.....	39
6	次年度の取組方針の検討	43
6-1	検討部会の開催.....	43
6-2	多職種協働による連携推進勉強会の開催.....	43
6-3	地域住民への普及啓発の実施.....	44
6-4	多職種連携ルールの更新.....	44
6-5	国、東京都・他自治体の取組等の情報提供.....	44

(このページは白紙です)

0 業務の概要

0-1 業務の目的

本業務は、日野市在宅高齢者療養推進協議会（以下、「推進協議会」）、日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会（以下、「検討部会」）及びその他在宅高齢者の療養環境整備支援に係る業務について、円滑かつ効率的、効果的に運営することを目的とする。

「推進協議会」は、高齢者が安心して在宅療養を受けられるよう、介護、福祉、医療、保健の各分野のサービス提供主体間における円滑かつ有機的な連携体制の構築を推進するため、以下の4項目について協議・検討を行うものである。

「検討部会」は、「推進協議会」の下に設置され、在宅療養環境の向上及び医療と介護の連携体制の構築等に関する取組みについて具体的に検討するための会議体である。

- 在宅療養における介護、福祉、医療、保健の各分野の関係機関及びサービス提供主体間の連携に関すること
- 在宅療養に関する課題の検討に関すること／中でも、医療と介護が主に共通する4つの場面を意識した検討に取り組むこと／具体的には4つの場面ごとの現状分析・課題抽出・目標設定等を行う前提として、地域のめざすべき姿を設定し、その目的を実現するために、達成すべき目標を4つの場面ごとに設定するルール作りを検討すること
- 在宅療養の推進に係る情報の普及啓発に関すること
- その他在宅療養の推進に関し、市長が必要と認める事項

0-2 業務の進め方

「検討部会」を作戦本部として、この運営支援を中心に、以下の各項目について企画・運営を進めた。

- 在宅療養における4つの場面を意識した取組に関すること
- 多職種による医療と介護の連携推進勉強会の内容に関すること
- 市民啓発イベントに関すること
- 多職種連携ガイドの更新に関すること
- 介護と医療の連携シートや多職種連携のためのルール集に関すること
- 在宅療養高齢者等支援窓口の体制に関すること

(このページは白紙です)

1 日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会の開催

1-1 会議の概要

「検討部会」は、在宅療養環境の向上及び医療と介護の連携体制の構築等に関する取組について具体的な検討を進めるために、「推進協議会」のもとに設置された会議体である。平成25年度より、医療と介護の連携に特に関わりの大きい「日野市医師会」「日野市歯科医会」「日野市薬剤師会」「日野市訪問看護ステーション協議会」「日野市立病院」「日野市在宅介護事業者協議会」「ひのケアマネ協議会」「地域包括支援センター」の8団体の代表者と行政を構成員に定期的に活動している。

令和7年度の「検討部会」は、一昨年度より在宅医療と介護連携における課題の検討を進めていること、作成から10年以上が経過した連携ツールをはじめ、既存の取組の評価をする時期に来ていることを踏まえて、以下の方針で話し合いを進めた。

- 従前の取組の棚卸し ～連携ツールの活用状況について
- 在宅療養の課題検討 ～看取りの取組と勉強会の開催について
- 定例行事の効率的運用 ～市民啓発イベントの準備・開催方法について

▼「検討部会」等の開催日程と主要な検討テーマ

回数	日程	主要な検討テーマ
第1回	令和7年5月26日	○令和7年度の検討部会の進め方について ○連携ツールの活用状況について（アンケートの実施等） ○在宅療養の課題検討について（看取りの取組と勉強会） ○定例行事の効率的運用について（市民啓発イベント等）
第2回	令和7年9月10日	○在宅療養ウィークの実施内容及びその他の市民啓発、情報発信方策について ○第2回、第3回勉強会の内容について
第3回	令和7年11月5日	○連携ツールに関する評価と対応の基本的な方向性【報告】 ○在宅療養ウィークの実施内容及びその他の市民啓発、情報発信方策について ○第3回勉強会の内容について
第4回	令和8年1月19日	○連携ツールの方向性について ○在宅療養ウィークの実施内容及び開催準備について ○次年度の予定について

1-2 各回の内容

1-2-1 第1回検討部会

第1回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和7年5月26日(月) 18:30~21:00
開催場所	: 市役所101会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会理事 望月氏、日野市薬剤師会 伊藤(威)氏、日野市訪問看護ステーション協議会 湯谷氏、ひのケアマネ協議会 横川氏、日野市在宅介護事業者協議会通所部門統括責任者 伊藤(麻)氏、日野市立病院患者総合支援室長 高橋氏、日野市地域包括支援センター代表 相馬氏</p> <p>【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、旗野介護保険課長 : 三浦係長、塩入保健師、金原(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 各職種の動きについて ・日野市在宅療養支援センターについて(概要説明、相談実績等) ・各職種の動きについて(各委員からの報告)</p> <p>2. 今年度の検討部会の進め方</p> <p>【議題】 1. 従前の取組の棚卸し ~連携ツールの活用状況について 2. 在宅療養の課題検討 ~看取りの取組と勉強会の開催について 3. 定例行事の効率的運用 ~市民啓発イベントの準備・開催方法について</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2024年度第4回検討部会 議事録、2025年度第1回検討部会 資料、連携ツールの活用状況の調査シート(案)、第4回在宅医療・介護サービスフェアの報告(アンケート等) 2024年度事業報告書、日野市在宅療養支援センターについて、第1回多職種連携勉強会開催通知</p>
結論	<p>1. 連携ツールの今後のあり方を検討するため、ツールの現状を確認する調査を実施することとし、調査項目には以下の修正を行うこととする。 - 必要な情報やツールの使い勝手を向上するためのアイデアも確認する - ケア倶楽部の利用促進も視野に入れた項目を追加する - 日野市の連携の課題についても確認する</p> <p>2. 連携推進勉強会は“看取り”を共通テーマに以下の通り開催することとする。 - ①基本パターン+ACPの関わりについて情報交換 - ②生保/行政の職種紹介(看取りに関する手続き等の典型例を題材に) - ③身寄りがない方の看取りに関する症例検討(必要な準備とタイミング等)</p> <p>3. 勉強会の終了時間を厳守しながら、参加者同士の交流を促進する観点から、会の構成を見直し、冒頭で名刺交換や宣伝等を行うようにすることとする。</p> <p>4. 市民啓発活動の持続可能なあり方を模索するため、今年度の活動は以下の要領で実施することとする。 - 「(仮称)在宅療養ウィーク」を設定して市民への周知を図る - 「ウィーク」では小さな相談会等の開催を検討する - あわせて、ホームページの改善等の情報発信方策も検討する</p>

1-2-2 第2回検討部会

第2回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和7年9月10日(水) 18:30~21:00
開催場所	: 市役所101会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会理事 望月氏、日野市歯科医会会長 武内氏、日野市薬剤師会 伊藤(威)氏、日野市訪問看護ステーション協議会 湯谷氏、ひのケアマネ協議会 横川氏、日野市在宅介護事業者協議会通所部門統括責任者 伊藤(麻)氏、日野市立病院患者総合支援室長 高橋氏、日野市地域包括支援センター代表 相馬氏</p> <p>【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、旗野介護保険課長 : 三浦係長、塩入保健師、金原(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 各職種の動きについて</p> <p>【議題】 1. 連携ツールに関する評価について【経過報告】 2. 在宅療養ウィークの実施内容について【確認】 3. その他の市民啓発、情報発信方策について【進捗報告】 4. 第2回、第3回勉強会の内容について【検討】</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2025年度第1回検討部会 議事録、2025年度第2回検討部会 資料、連携ツールに関するアンケート結果(暫定版)、日野市ホームページの掲載情報 勉強会のまとめ & アンケートのまとめ</p> <p>【当日配布】 過去の市民啓発イベントにおける職種紹介の内容一覧、第2回勉強会開催通知(案)</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 連携ツールの評価については、より多くの方、特に医療職や経験の少ない専門職から回答を集めるため以下の通り調査方法を調整することとする。 - 調査期間を9月末までに延長する - 各協議会を通じて回答依頼を行う - メールアドレスの必須入力という位置づけを再考する 2. 在宅療養ウィークについては、認知症月間を参考にしながら、例えば「各所で動画を流す」等の負担が大きく増えることなく実施できるプログラムを束ねるイメージで企画を再考することとする。 3. その他の市民啓発方策として、第4回在宅療養フェアの記録をベースにした動画を作成し、以下の通り準備・活用することとする。 - 講演内容をまとめた動画は在宅療養ウィーク等の機会に活用する - さらに各職種を紹介する動画を作成するため部会委員は台本案を検討する 4. 第2回勉強会は、ACPの進め方をテーマに市内の事例を共有し、どの項目を誰がどのように聞くか(聞きやすいか)を話し合う内容とする。 5. その他、今後の勉強会については以下の意見を反映することとする。 - 各協議会の参加枠を上回る申込があった場合は調整や聴講への誘導を行う - 今後の第1段階勉強会は、前回勉強会の内容をベースに名刺交換タイムを改良した内容で実施する

1-2-3 第3回検討部会

第3回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和7年11月5日(水) 18:30~20:00
開催場所	: 市役所502会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会理事 望月氏、日野市歯科医会会長 武内氏、日野市薬剤師会 伊藤(威)氏、日野市訪問看護ステーション協議会 湯谷氏、ひのケアマネ協議会 横川氏、日野市在宅介護事業者協議会通所部門統括責任者 伊藤(麻)氏、日野市立病院 患者総合支援室長 高橋氏</p> <p>【事務局】 : 平高齢福祉課長 : 三浦在宅支援係長、塩入保健師、金原(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 各職種の動き</p> <p>【議題】 1. 連携ツールに関する評価と対応の基本的な方向性【報告】 2. 在宅療養ウィークの実施内容【検討】 3. その他の市民啓発、情報発信方策【報告】 4. 第3回勉強会の内容について【検討】</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2025年度第2回検討部会 議事録、2025年度第3回検討部会 資料、連携ツールに関するアンケート結果、第3回勉強会開催通知(案)</p> <p>【当日配布】 市民啓発資料骨子(ストーリー、パネル案)、市民啓発動画(前半/前回イベントの記録の再構成)、第2回勉強会のまとめ & アンケートのまとめ</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養ウィークでは以下の内容を中心に企画を詰めていくこととする。 <ul style="list-style-type: none"> ー市内公共施設や包括、サロン等での動画上映(常時実施を想定) ー動画上映にあわせた専門職の相談会(動画上映とセットで1時間程度) ー動画の上映場所や相談会の日程を掲載したPR資料の配布 (これに在宅療養の概要や同動画の視聴用QRコードを掲載する) 2. 上記の実現に向けて、上映場所との調整、相談会に対応できる専門職の確保を進める。あわせて、実施した内容の効果測定方法も検討することとする。 3. その他の市民啓発、情報発信方策として、動画の作成・ブラッシュアップを進めるとともに、運転免許センターで見せられる啓発動画を参考に「備えを怠ったために破綻してしまうケース」を紹介する短編の動画の作成も検討することとする。 4. 第3回勉強会は、身寄りがない高齢者のマネジメントに関して困ったことを出し合う第1段階の勉強会とする。 5. 第3回勉強会の開催後は、勉強会を通じて集めた意見を次回以降の勉強会や検討部会での課題検討の材料として活用することとする。

1-2-4 第4回検討部会

第4回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和8年1月19日(月) 18:30~20:30
開催場所	: 市役所101会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会理事 望月氏、日野市歯科医会会長 武内氏、日野市薬剤師会 伊藤(威)氏、日野市訪問看護ステーション協議会 湯谷氏、ひのケアマネ協議会 横川氏、日野市在宅介護事業者協議会通所部門統括責任者 伊藤(麻)氏、日野市立病院患者総合支援室長 高橋氏、日野市地域包括支援センター代表 相馬氏</p> <p>【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、旗野介護保険課長 : 三浦在宅支援係長、塩入保健師、金原(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 各職種の動きについて</p> <p>【議題】 1. 連携ツールの方向性について 2. 在宅療養ウィークの実施内容及び開催準備について 3. その他の市民啓発、情報発信方策について 4. 次年度の予定について</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2025年度第3回検討部会 議事録、2025年度第4回検討部会 資料、在宅療養ウィークのチラシ(情報発信資料)の叩き台、壁面展示パネルの叩き台、日野市在宅療養支援センター相談実績報告、第3回勉強会のまとめ & アンケートのまとめ</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 連携ツールについては、次回以降に具体的な修正案の内容を検討することとする。 2. 在宅療養ウィークでは、以下の要領でミニ相談会を開催することとし、対応する職種の確認等の準備を進めることとする。 <ul style="list-style-type: none"> －立ち話的な気軽な相談の場とする(前回確認した内容) －主な会場は資料の通り市役所と市立病院を想定する －相談役は候補となる日時を提示して入れる職種を募る(できれば医療職と介護職を各1職種揃えることを目標とする) 3. 上記の方針にあわせてチラシの修正を行うこととする。 4. 在宅療養ガイドブックは、次回の改訂で2026年診療報酬改訂の結果を反映することとする。 5. 次年度の検討部会等の開催スケジュールは一部日程の見直しや再確認を行った上で最終決定することとする。

(このページは白紙です)

2 多職種協働による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援

2-1 勉強会の開催状況

「連携推進勉強会」は、日野市及び「検討部会」が実施主体となって、医療と介護に携わる専門職同士の「顔の見える関係づくり」（第1段階勉強会）や多職種が同じ方向を向いてより良いサービスを提供できる体制づくり（第2段階勉強会）を目指して、定期的に行っているものである。勉強会の開催結果は必ずまとめを作成して情報の共有と疑問点の解消に努めているほか、閉会後は懇親会の開催が恒例となっており、これらも多職種の連携を促進する材料となっている。

- 第1段階勉強会：市内の医療と介護の関係者の「顔の見える関係づくり」の場となる勉強会
 - 第2段階勉強会：具体的な症例検討等を通じた多職種協働のイメージ共有や具体的な経験を積み上げる場となる勉強会
- ※ この他にも、市内4つの日常生活圏域毎に地域包括支援センターが呼びかける地域の専門職間の交流や技術の向上を促す勉強会や、各職種独自の研修会や講演会等を開催している

令和7年度の連携推進勉強会は、在宅医療と介護連携における課題の整理や取組みの検討を進めるという検討部会の方針に基づいて、勉強会や検討部会の中で関係者からの関心が高かった「看取り」を共通テーマに、第1段階及び第2段階の勉強会を企画・開催している。

▼各会の開催日程等

名称	日程	主催と対象
第1回 医療と介護の連携推進勉強会 【第1段階】	令和7年7月18日	主催：日野市高齢福祉課 対象：医師会、歯科医会、薬剤師会、訪問看護ステーション協議会、病院、在宅介護事業者協議会、ケアマネ協議会、地域包括支援センター連絡会の各団体*の所属事業所と市役所 ※「検討部会」に参加する8団体 *第2段階勉強会は、原則として第1段階勉強会に参加していることが参加条件となっている
第2回 医療と介護の連携推進勉強会 【第2段階】	令和7年10月17日	
第3回 医療と介護の連携推進勉強会 【第1段階】	令和7年12月19日	

2-2 各会の内容

2-2-1 第1回医療と介護の連携推進勉強会

第1回勉強会では、恒例の“顔の見える関係づくり”に次の2つのアレンジを加えて開催し、参加者から恒例を得ることができた。その内容は以下の通り。

- ー本題に入る前に他のテーブルの方と名刺交換や自己紹介を行う時間を用意
- ーグループワークではACPを話の種に“顔の見える関係づくり”を進める内容で実施

▼開催概要_1/2

開催日時	：令和7年7月18日（金） 19：00～21：00	
開催場所	：多摩平の森産業連携センター「PlanT」 イベントスペース	
出席者	【出席者】：関連8団体（9頁参照）に所属する参加者計57名 【事務局】：5名（グループワーク参加者を含む）	
プログラム	【はじめに】	
	 <p>：日野市高齢福祉課から開会挨拶</p>	 <p>：アイスブレイクを兼ねた名刺交換タイム</p>
	 <p>【情報提供】</p> <p>：日野市より、市内で使用している多職種連携のためのツールと、ACPの取組について紹介しました</p>	
	 <p>【グループワーク】</p> <p>：グループ内の参加者同士で自己紹介をした後は、ACPについて、他職種について話し合いました</p>	 <p>【全体発表】</p> <p>：各グループの代表者がどんな話が出たのかを発表し、全体で共有しました</p>

2-2-2 第2回医療と介護の連携推進勉強会

第2回勉強会は、第1回の勉強会で取りあげたACPに関する検討をもう一歩進める取組として、仮想の患者・利用者に対して、どの職種がどんなタイミングでどのように働きかけるのが良いかを話し合う第2段階の勉強会を開催した。その内容は以下の通り。

▼開催概要

開催日時	: 令和7年10月17日(金) 19:00~21:00
開催場所	: 多摩平交流センター 集会室6
出席者	<p>【出席者】: 関連8団体(9頁参照)に所属する参加者計41名 ゲスト講師9名(上記)、聴講2名</p> <p>【事務局】: 4名(グループワーク参加者を含む)</p>
プログラム	<p>【情報提供】</p>   <p>: 冒頭では、日野市よりACPに関する基本的な情報をおさらいする情報提供を実施 : その後、地域包括支援センター、ケアマネジャー、訪問看護看護士の3職種からそれぞれの立場で実施しているACPの取組について紹介いただきました</p> <p>【グループワーク】</p>   <p>: はじめは、自己紹介を兼ねて、情報提供の感想等を発表 : 次に各職種ができること(聞いている、聞けそうな情報)、把握しておきたいけれど難しい情報を共有し、多職種で実施している内容や把握している情報を共有しました</p> <p>【全体発表】</p>   <p>: テーブル毎にどんな話が出たのかを発表 : 話し合った内容を時系列に沿って並べてみると、いつどの職種がどんな情報を欲しがっているのか、それを誰に聞けば良いのかが見えてきました</p>

※プログラムの紹介では開会挨拶を省略している

▼開催概要_2/2

情報提供の 内容や 参加者の 発言内容等	【グループワークの内容①】：大事だと思った情報や把握しておきたい情報	
	個人の嗜好や思い ：趣味や好きだったこと、大切なもの、人 ：何を大切にしているか（例、家族との時間、食べること、トイレに行くこと等） ：本来のその方のキャラクター（人見知り、わがまま、遠慮がち、我慢強い等）	家族関係 ：緊急連絡先（親族情報） ：対象者にとって信頼できる人は誰か ：今後のことを一緒に考えて欲しい人、頼りにしている人 ：自宅で過ごす時介護できる人はいるのか
	金銭面 ：金銭的情報、年金額、財産（借金等含） ：自宅で過ごす前提で、使っていい金額は	医療・介護に関する希望 ：病院に対するイメージ ：入院や薬などに対する希望／拒否 ：治療に対する考え（治療したいのか？治療したくないのか？）
	最後の場所の希望 ：自宅での過ごし方 ：最期を迎えたい場所（家/病院/施設？） ：排泄や入浴の介助が必要になった時自宅で生活したいか【ケアマネ】	関係者で情報を共有する方法 ：どの時点で連携したらいいのか ：他の職種の方がどこまで話しているのか ：雑談程度で利用者から出た話をその後どのようにつなげればいいのか
	【グループワークの内容②】：各職種ができること	
時期	把握しておきたいけれど難しい情報	普段聞いている・聞けそうな情報
元気／ 外来通院	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族の連絡先、家族との関係 ● 金銭面、治療費【看護師、病院】ほか ● 初回介入時は延命について聞きにくい【看護師】 ● 終末期の話はピンとこない方が多く本心は分からない【包括】ほか ● その他、車で通院する方の免許返納意向等 	<ul style="list-style-type: none"> ● その方の趣味、好きなもの等 ● 自宅訪問時に本人の性格がある程度特定できる【包括】 ● 既往歴や延命について【包括】 ● 認知症が進む前に本人の思いや考えを聞いておく、記録に残す ● 緊急連絡先【包括】 病院では… <ul style="list-style-type: none"> ● 医師の治療方針、今後どのような経過をたどるかの見通し ● できるだけどこで過ごしたいか
介護保険 申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活歴【施設】 ● 家族の情報【病院】 ● 介護する家族の本当に辛いこと【介護サービス】 ● 金銭面、食事にどれだけお金をかけられるか【包括、栄養士】 ● 病気の進行聞き辛い【ケアマネ】 ● 最期について（特にイベントがないと本音を聞くのが難しい） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の気持ち（家族と離れているから話せる）【介護サービス】 ● サービス利用開始時、入所時等に行先の希望【施設】ほか ● 金銭面は月々の負担の中で把握できる）【ケアマネ、薬局】 ● 家族との関係【薬局】 ● 家族の連絡先は聞く【ケアマネ】 ● 家族がどれ位金銭面、介護面で支援ができるか【ケアマネ】
在宅医療 ／全介助	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族の情報、本人と家族のギャップ【病院】ほか ● 医療で何ができるのか【介護サービス】 ● 栄養のことは聞けていない ● 金銭的情報、相続のこと【ケアマネ】【薬局】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 急変時や初回訪問時に延命措置をするかしないかを確認【医師】 ● 治療方針など【病院】 ● 最期を過ごす場所【病院】 ● 家族の介護力【病院】 ● 家族関係、緊急連絡先【病院】
終末期	<ul style="list-style-type: none"> ● 供養について【医師】ほか ● 最期はどこで迎えたいか【薬局】 ● 金銭的情報【医師、訪看】ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最期のイメージを伝えて治療や場所を確認【訪看】 ● 家族のグリーフケア開始【包括】 ● その他、最後の洋服、好きな曲等

2-2-3 第3回医療と介護の連携推進勉強会

第3回勉強会は、ACPというテーマに関連して従前より課題として指摘が多かった“単身独居”“看取り”といった困難ケースについて、各職種の日頃の悩みや連携の課題についてざっくばらんに話をする第1段階の勉強会を開催した。本勉強会では、第1回と同様に名刺交換や自己紹介の時間を設けたほか、グループワークの前には身寄りがない高齢者の対応の事例を多く抱える地域包括支援センターからの情報提供も行った。その内容は以下の通り。

▼開催概要_1/2

開催日時	：令和7年12月19日（金） 19：00～21：00
開催場所	：多摩平交流センター 集会室6
出席者	【出席者】 ：関連8団体（9頁参照）に所属する参加者計41名 【事務局】 ：5名（グループワーク参加者を含む）
プログラム	<p>【はじめに】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>：日野市高齢福祉課から開会挨拶</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>：アイスブレイクを兼ねた名刺交換タイム</p> </div> </div>
	<p>【情報提供】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>：この後のグループワークの導入として、包括支援センターすずらの廣川さんより、包括が関わる身寄りのない高齢者等への支援事例について紹介いただきました</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 80%;"> <p>対応ケース① おひとりさまの看取り～遺言作成・納骨～</p> <p>【本人情報】Aさん 81歳女性 未婚 独居 7人兄弟の末っ子 子どもの死と介護で世帯に暮らしていたが、母が亡くなり独居となる。介護もみな亡くなっている。長男の子（独居在住）と姉妹で連絡も一切とっていない。 年金が万円/月 納付済み 自給自足暮らし 【相談経緯】近所クリニックより、母は認知症で、母ががん末期で余命3-4か月という方の支援依頼。 【対 応】看取りはとっかかりが難しかったが、看取り支援、訪問介護、福祉用具等介護サービスを入居して在宅での看取りを検討する。 ⇒特別介護事業にて支給資格を確保。 ⇒訪問介護センターを中心として看取りに関する緊急支援 ※本人の意思・願望は尊重し、介護を依頼したは関係して治療費、生活費を支てたい、亡くなった後は葬儀（火葬）の費用を助けてほしい。 ⇒看取りは本人だけでなく家族も必要だが、費用の申し立てが難しかった。 ※看取りに困難なベッド上で遺言書作成（遺言）を話し、長男の子に預けようとする。 ※納骨の費用 上段で多額の費用を確保に難しかったが、長男の子の意向、葬儀代等は立て替える。 ⇒納骨を委付して1か月半後に長男一孝が長男代行となり、手続を行う。 ※お葬儀はボランティアで（1）期間に送付した。 同意していた兄が逝去した時はAさんが産相済み、葬儀行い難に出に納骨。長男も存命だったので問題なかった。おひとりさまのうちに納骨を考えたから...</p> </div> </div>
	<p>【グループワーク】</p> <div style="text-align: center;">  <p>：身寄りのない高齢者に関わった経験を題材に各参加者・職種を知るための情報交換を行いました</p> </div>
	<p>【全体発表】</p> <div style="text-align: center;">  <p>：各グループの代表者がどんな話が出たのかを発表し、全体で共有しました</p> </div>

▼開催概要_2/2

情報提供の
内容や
参加者の
発言内容等

【情報提供の内容】：包括支援センターすずらの廣川さんの話のダイジェスト

対応ケース

- ① おひとりさまの看取り ～遺言状作成・納骨
- ② おひとりさまの手術同意 ～身元保証サービスの相談
- ③ 8050 問題のおふたりさま
- ④ おふたりさまの終活
- ⑤ 親族、周りから関係を自ら断っているおひとりさま
(現在進行形で悩んでいるケース)

身寄りのない高齢者／おひとりさまは色々な問題が起きやすい条件が揃っている

ひとりで何が悪い！

“身寄り力”が大事!!

おふたりさまのうちからの終活が大事!!

【参考】おひとりさまの終活で検討すべき主な内容

- ① 身元保証人の確保と死後事務委任契約
- ② 財産と身の回りの整理（生前整理・財産整理・エンディングノート）
- ③ 医療・介護の見守りサービスの準備（医療意思表示 見守りサービス）
- ④ 葬儀やお墓の準備（葬儀の希望 お墓）

【グループワークの内容】

おひとりさまに対する印象や関わった経験

- あまり経験がない / 包括がここまでやってくれるのがすごいと思った
- とても悩んでいる / みんなで悩んでその場その場で誰かの助けで乗り切っている

おひとりさまに関する心配事や悩み事

- 身寄りがあるかどうか分からない／親族の誰とも連絡がつかない
- 癌で通院中だが支払いせず帰宅したり、通院日を忘れていたりすることがある…今後どう対応すれば良いか…
- 「自由が良い」と言っているがどこまで自由を受け入れるか など

【日野市からの情報提供】

：会の最後に多職種連携を促進するツール等に関する情報提供を行いました

勉強会について

- 本日のような勉強会を市内4圏域単位でも開催中「圏域別勉強会」

多職種連携ツールについて

- 医療・介護関係者で情報をやりとりするためのシート「介護と医療の連携シート」
- 医療・介護の事業所情報を掲載した「多職種連携ガイド」
(WEB サイト「日野市ケア倶楽部」内)
- 連携用の ICT ツールとして日野市が活用を促進している 医療・介護従業者のための完全非公開型 SNS「メディカルケアステーション」
- ツールの詳細はこちらを参照ください：
<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1003579.html>

(このページは白紙です)

3 地域住民への普及啓発の実施支援

3-1 作業の概要

日野市では、地域住民に対して様々な方法で在宅療養に関する基礎情報や日野市の在宅療養環境に関する普及啓発を行っている。

これまで、平成29年度から令和6年度までに計4回開催している「ひの在宅医療・介護サービスフェア」というイベントと、令和元年度に作成し以降毎年改定を行っている「日野市在宅療養ガイドブック」、コロナ禍に始めた在宅療養の様子を伝える動画コンテンツという自宅でも確認できる普及啓発ツールの大きく2本柱で展開しているところである。

令和7年度については、大規模なイベントでは情報を届けるのが難しかった足の悪い高齢者や離れて暮らすご家族にも情報を届けられるようにすること、イベントを継続的に開催するために効率化を図ることを目標に、市内各所で期間中いつでも情報が得られる場所を設けて、自分の都合に合わせて足を運ぶことができる「在宅療養を知るウィーク」と題する新しい取組を試行した。

「在宅療養を知るウィーク」では、令和8年3月2日（月）～6日（金）の5日間に以下の内容を実施した。

- 動画の上映：在宅療養に関する基本的な情報を手軽に知りたいという方向けに、市役所と2つの病院で在宅療養の概要を説明する動画を上映した
- ミニ相談会・交流会：医療と介護のプロにその場で質問や相談ができる場を設けた
- 資料の配布：地域包括支援センターにて「在宅療養ガイドブック」ほかの資料を配布した
- 福祉用具の展示：市内の福祉用具事業所に協力を得て、車いすや電動ベッド等の福祉用具に実際に触れ、必要に応じて説明を受けることもできる展示会を行った

▼実施内容の詳細（チラシ内面より）

動画上映の会場（市役所ではパネル展示も行います）

◎ 日野市立病院

所在地：多摩平 4-3-1
時間：8時半～17時

1階の待合スペースのテレビで動画を上映します！
退院のついでに、装束の着脱にご覧ください！

◎ 康明会病院

所在地：豊田 2-32-1
時間：9時～17時

1階の待合スペースのテレビで動画を上映します！
退院のついでに、装束の着脱にご覧ください！

◎ 日野市役所

パネル展示は1階の視聴室の周辺、動画上映は1階応接で行います！

所在地：神昭 1-12-1
時間：【パネル展示】8時半～17時
【動画上映】10時～11時、14時～15時（午前の部）（午後の部）

質問・相談ができる会場

市役所1階の売店前では、期間中毎日上記の動画上映と同じ時間帯にミニ相談会を実施します！

ケアマネジャーや保健師といった介護と医療のプロが毎日決まった時間にお待たせしています！何かの手続きや動画上映を見られたついででも構いません、気軽に立ち寄り声をかけてください！

在宅療養を知るウィーク 会場案内図

福祉用具の展示会場

市内で福祉用具の販売・貸与を行っている事業所のうち、こちらの3箇所を見学することができます！

時間：9時～17時（3箇所共通）
展示品：介護ベッド、車いす、歩行器等（その他の品は各事業所の紹介を参照ください）

◎ ひまわり館 多摩営業所

所在地：多摩平 1-14-100
展示品：\の他に介護シューズ、1本杖 等

展示品は実際に体験することも可能です！
福祉用具のことや介護保険シートの利用方法など、ご不明な点があればお気軽にご相談ください！

◎ ふれあい介護ショップりんりん

所在地：多摩平 4-1-18
展示品：\の他に手すり、杖、入浴用具 等

福祉用具ってどんなもの？ 介護保険を使ってレンタルできるの？ 住居改修って何？ などなど
在宅介護で抱える不安、疑問、小さなことでも聞いてほしい、お気軽にご相談ください！

資料の配布場所：市内9箇所の『地域包括支援センター』（受付時間：9時～18時）

○「地域包括支援センター」は、地域で暮らす高齢者のみなさまの暮らしを支える「総合相談窓口」です。
○介護保険の申請や、「生活に不安がある」「家族や近所の高齢の方の様子がおかしい」「元気なうちから介護予防に取り組みたい」等の相談に対応します。
○「何かあったら包括へ」是非この機会に一度足を運んでみてください！
※「地域包括支援センター」はそれぞれ担当地域が決まっています。できるだけ住まいの地域を担当する包括を訪ねてください。

	① 地域包括支援センター あいりん	② 地域包括支援センター すてっぷ	③ 地域包括支援センター いきいきタウン	④ 地域包括支援センター かわきた	⑤ 地域包括支援センター すずらん	⑥ 地域包括支援センター あさかわ	⑦ 地域包括支援センター もぐさ	⑧ 地域包括支援センター 多摩川苑	⑨ 地域包括支援センター せせらぎ
所在地	多摩平 6-31-7 東野小学校から徒歩100m 多摩平駅北徒歩約1分	豊田 3-1-8 フレシア豊田 1階 徒歩20分 日野駅（バス利用） 徒歩15分 日野駅（徒歩利用）	東平山 3-1-1 日野駅南口徒歩約5分 【あおぞら】の隣	西平山 1-12-1 総合福祉の館、 平川ビル 19階の2号机	南平 7-18-28 小林ビル 1階B 南平駅前を出て すぐ左手のビルの1階	高層 651-5 高層マンション2階 1階 徒歩41分 徒歩、高層鳴 屋バス停から徒歩へ150m	徳川 1070 リブージュ百草園1階 川崎駅南口、百草園 駅バス停から徒歩へ50m	万願寺 1-16-1 特別養老老人ホーム 「マザラス」の1階	日野町 6-3-17 中野小学校の南裏、多摩川 沿いの「カドリア」1階
電話番号	042-586-9141	042-582-7367	042-585-7071	042-589-1710	042-599-5531	042-593-1919	042-599-0536	042-582-1707	042-589-3560
担当地域	多摩平 3～7丁目 日野台 4、5丁目 大坂上	豊田・大字豊田 東豊田・富士町 旭が丘 2、5、6丁目 多摩平 1、2丁目	東平山 2、3丁目 平山	旭が丘 1、3、4丁目 西平山 東平山 1丁目	南平	高層・三沢（※徒歩） 三沢 1、3、4、5丁目 大字新井・新井 程久保 1～8丁目	百草園 程久保（1～8）目録除く 三沢 2丁目 三沢1289-1 294除く	万願寺 大字川辺内 大字日野・大字宮 石田・大字石田	日野町 日野台 1、2、3丁目 栄町 新町

17

▼イベントの開催概要（チラシ表紙）

今よりもう少し年を取った／体調が悪くなった時のことを考えていますか？

日野市の在宅療養を知るウィーク

2026年 3/2月 ▶ 6金

「今はまだ元気だけど…」そんな将来の不安を払拭し、「可能な限り住み慣れた我が家で自分らしく生活したい」という希望を叶えるために役立つ情報を市内各所でご紹介する1週間です！



※Google Gemini / Nano Banana Pro で生成

参加無料 申込不要

○在宅療養ウィークの主な実施内容

以下から気になる内容を見つけたら、チラシ内面でご案内する会場を訪ねてください！
3月2日（月）～6日（金）の間中は毎日オープンしています。（※「ミニ相談会」を除く）

在宅療養に関する基本的な情報を手軽に知りたいという方は…	市役所と2つの病院で説明動画を上映します（市役所ではパネル展示も）	
専門家に直接話を聞いてみたい、質問したいという方は…	医療と介護のプロにその場で質問や相談ができる機会を設けます	
ご家でゆっくり読む資料が欲しいという方は…	日野市が作成した「在宅療養ガイドブック」ほかの資料セットを配付します	
介護を受ける／介護するイメージが湧かないという方は…	車椅子や電動ベッド等の福祉用具に触れられる展示会を開催します	
期間中にこれらの会場を訪れるのが難しいという方は…	背面に掲載したQRコードから日野市HPや関連する動画等をご覧ください	

問合せ：日野市高齢福祉課（☎042-514-8496）

3-2 在宅療養ウィークの開催結果

3-2-1 動画の上映

日野市立病院と康明会病院の待合スペース、さらに日野市役所の売店前スペースにおいて、以下の写真の要領で在宅療養の概要を説明する動画を毎日上映した。また、前記3箇所の上映場所とは別に、地域包括支援センター多摩川苑で開催したミニ講演会の会場（3-2-2参照）と宮地区センターにて、単発の上映会を実施した。

その他、期間中には日野市公式YouTubeチャンネルで公開している啓発動画の視聴数も確認している。

▼実施概要

開催日時	: 令和8年3月2日(月)～6日(金) ※時間は下に記載
開催場所	: ①日野市立病院(多摩平4-3-1) 8時半～17時 : ②康明会病院(豊田2-32-1) 9時～17時 : ③日野市役所(神明1-12-1) 10時～11時、14時～15時
実績	: 現地上映 2,608人(①～③合計) ※日野市立病院、日野市役所、地域包括支援センター多摩川苑、宮地区センターでの視聴者数の合計/康明会病院は未集計 : YouTube 37回

日野市立病院: カウンター上部にあるモニターで各種案内の合間に動画を上映




康明会病院: 待合スペースの頭上にあるモニターで動画を上映

実際の様子




日野市役所: 市役所1階の売店前スペースにモニターを設置して動画を上映

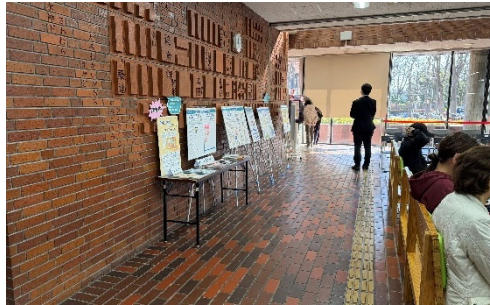



▼実施概要 2/2

実際の様子

日野市役所

- ：市役所1階では、階段室周囲のスペースを利用してパネル展示も実施
- ：相談や申請の合間のちょっとした時間に在宅療養に関する知識を得ること、待合スペースから動画を上映している売店前のスペースに誘導することが狙い
- ：パネルは、在宅療養の概要を伝える「在宅療養ガイドブック」からの抜粋5枚と、在宅療養に関心を持つきっかけをつくることを狙った5枚の計10枚で構成



YouTube

- ：日野市公式 YouTube では、在宅療養の概要を簡単に伝える約3分の動画と、在宅療養の実際の様子を伝える12分弱の動画を公開している
- ：この2動画の視聴数は、2023年7月に公開してから2年半で合計956回、在宅療養ウィーク期間中に993回まで増加、現在も視聴数の増加が続いている



知っていますか「在宅療養」



日野市在宅療養講座「元気なうちから知っておきたい介護と医療の話」

3-2-2 ミニ相談会・交流会

イベント「ひの在宅医療・介護サービスフェア」では、専門家に直接話が聞ける、質問ができるという点が特に評価されていたことから、これが実施できる場として、日野市役所で動画上映を行っている脇に医療・介護の専門職が待機して、その場で話ができる体制を整えた。

3月3日（火）には、包括多摩川苑と包括せせらぎの共催で、動画上映と専門職からの講演、とろみ飲料の試食や施設の献立の展示など盛り沢山の内容のミニ交流会も開催されている。

▼実施概要 1/2

開催日時	: ①令和8年3月2日（月）～6日（金） 10時～11時、14時～15時 : ②令和8年3月3日（火） 14時～15時半
開催場所	: ①日野市役所（神明 1-12-1） : ②地域包括支援センター多摩川苑（万願寺 1-16-1）
実績	: 48人（②）
実際の様子	<p>【①ミニ相談会@日野市役所】 : 動画上映時に待機していた医療と介護の専門職は以下の通り -日野市医師会訪問看護ステーション、行政保健師（以上、医療職） -日野市ケアマネ協議会に所属するケアマネジャー（以上、介護職） -その他、高齢福祉課職員</p> <p>【②ミニ交流会@包括多摩川苑】</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>: 会場の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>: まず在宅療養の概要を伝える動画の上映</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>: 訪問看護師さんによる講演</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>: 管理栄養士さんによる講演</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>: とろみ飲料の作り方の紹介と試飲</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>

【②ミニ交流会@包括多摩川苑】～メインプログラム終了後の様子

実際の様子



: マザアスとヘルシーネットワークがブースを設置して、来場者へ食事・栄養に関する情報提供や質問対応を実施



: 会場内のあちこちで、当日の講師や地域包括支援センターほかの方々に質問等を行う様子が見られた

3-2-3 資料の配付

在宅療養ウィークの開催を案内するチラシでは、地域包括支援センターを改めてPRすることを狙って、同所で「在宅療養ガイドブック」等の資料を配付していることを周知した。さらにチラシ自体にも在宅療養に関するお役立ち情報を掲載して、在宅療養ウィークが終了した後も必要な情報を得るための資料になるようにしている。

▼実施概要

開催日時	<p>：①令和8年2月17日（火）～</p> <p>：②令和8年3月2日（月）～6日（金） 9時～17時（資料の配布）</p>
開催場所	<p>：①チラシの配布に協力が得られた市内の診療所、歯科診療所、薬局、市立病院、福祉用具事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、市内公共施設ほか</p> <p>：②市内9箇所の地域包括支援センターほか（資料の配布）</p>
実績	<p>：4,200部（①）</p>
実際の様子	<p>チラシ（背面）に掲載した情報</p> <p>：上部には、在宅療養とは何かを簡単に説明する文章とイラストを掲載</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「大手術をしたばかりだから、定期的な治療が必要な持病があるから、病院じゃなきゃ駄目かも」 「頼れる家族が近くにいないから、この先向があるか分からないから、施設じゃなきゃ駄目かも」 そんな風に考えていませんか？ 病院や施設と同じように、ご自宅で医療や介護を受けながら生活を続ける「在宅療養」という選択肢があります！</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>病院や介護施設では、施設に所属するスタッフが医療・介護のサポートを行います</p> <p>自宅で医療 自宅で介護</p> <p>住み慣れた自宅に医師や看護師、ホームヘルパー等に来てもらい、病院や施設と同じように医療や介護を受けながら療養生活を送ることを『在宅療養』と言います</p> </div> <p>：下部には、在宅療養について関心を持った時に、もう少し詳しい情報を調べることができる資料等にアクセスするためのQRコードを以下の通り掲載</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>まずはこちらを ↓ ご覧ください ↓</p> <p>【WEB サイト】日野市 HP ～在宅療養について～</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>まだ大丈夫と思っている方は ↓ こちらをご覧ください ↓</p> <p>【Gemini Storybook】日野家の備えの物語 ～穏やかな日々のために～</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>介護サービス等を利用する際は ↓ こちらをご覧ください ↓</p> <p>【WEB サイト】介護サービス情報 公表システム（厚生労働省）</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px; display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【PDF】わたしの思いをつなぐ エンディングノート</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【WEB サイト】けあプロ・navi 介護事業者情報検索システム</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>在宅療養の概要や相談窓口の情報、分かりやすい動画や資料もあります ブックマーク／お気に入り に追加しておくと便利です</p> </div>

3-2-4 福祉用具の展示

市内で福祉用具の販売・貸与を行っている事業所のうち、協力意向を示していただいた3つの事業所において、車いすや電動ベッド等の福祉用具に実際に触れ、その場で説明を受けることもできる展示会を行った。

▼実施概要 1/2

開催日時	: 令和8年3月2日(月)～6日(金) 9時～17時
開催場所	: ①ひまわり館 多摩営業所(多摩平1-14-100) : ②パナソニックエイジフリーショップ日野(多摩平3-2-13) : ③ふれあい介護ショップりんりん(多摩平4-1-18)
実績	: 計10人(①～③)
実際の様子	<p>ひまわり館 多摩営業所 : 1階を展示スペースに、</p>      
	<p>パナソニックエイジフリーショップ日野(次頁に続く) : 事務所スペースの手前のスペースに</p>  

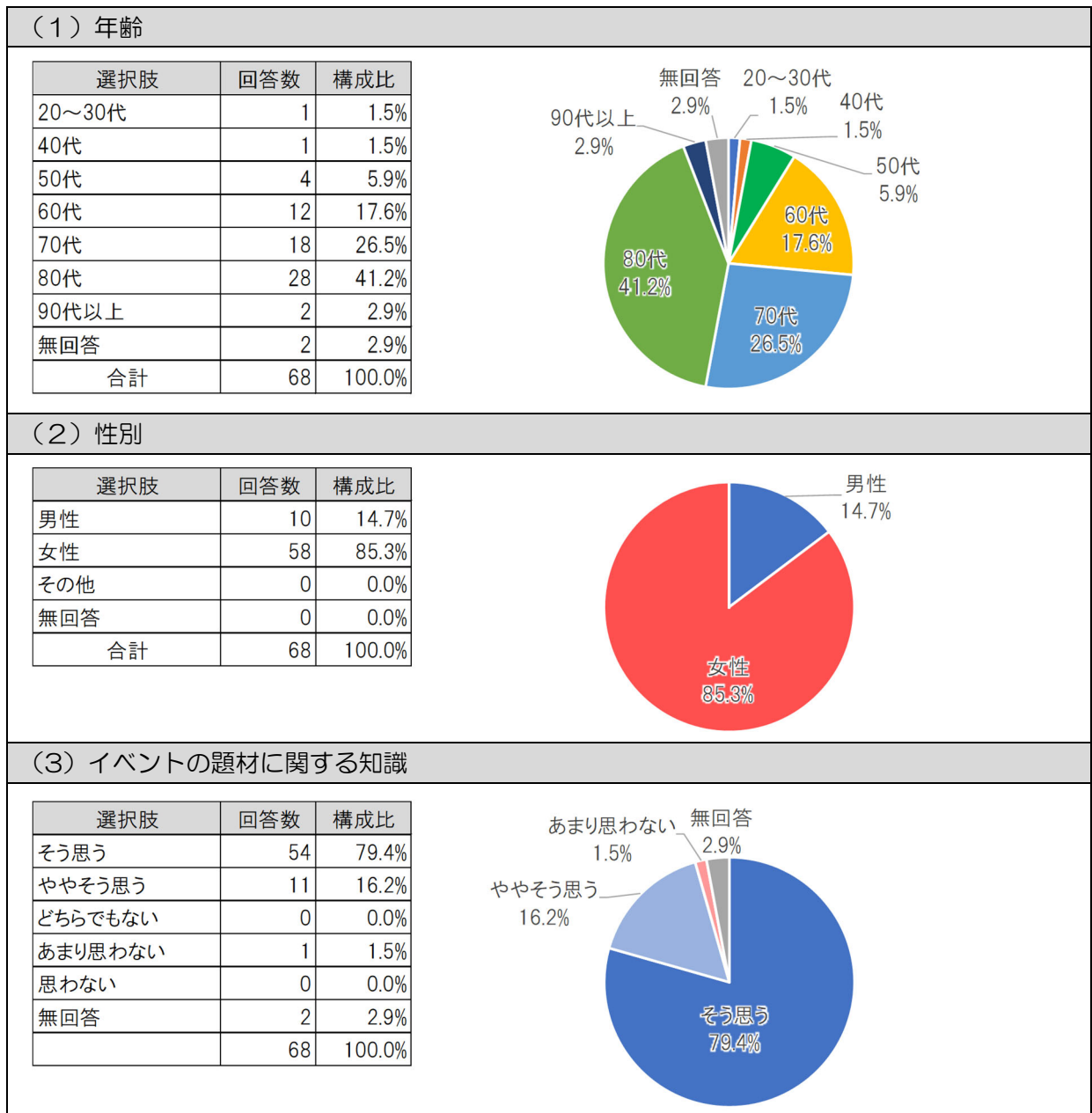
3-2-5 市民の声

日野市役所（3-2-1③）とミニ交流会（3-2-2②）で動画を視聴した方を対象に簡単なアンケートを実施し68人から回答を得た。

アンケートでは、多くの方が動画を視聴して良かったと回答しており、動画を活用した情報提供がうまくいったことを確認することができた。

▼アンケート結果

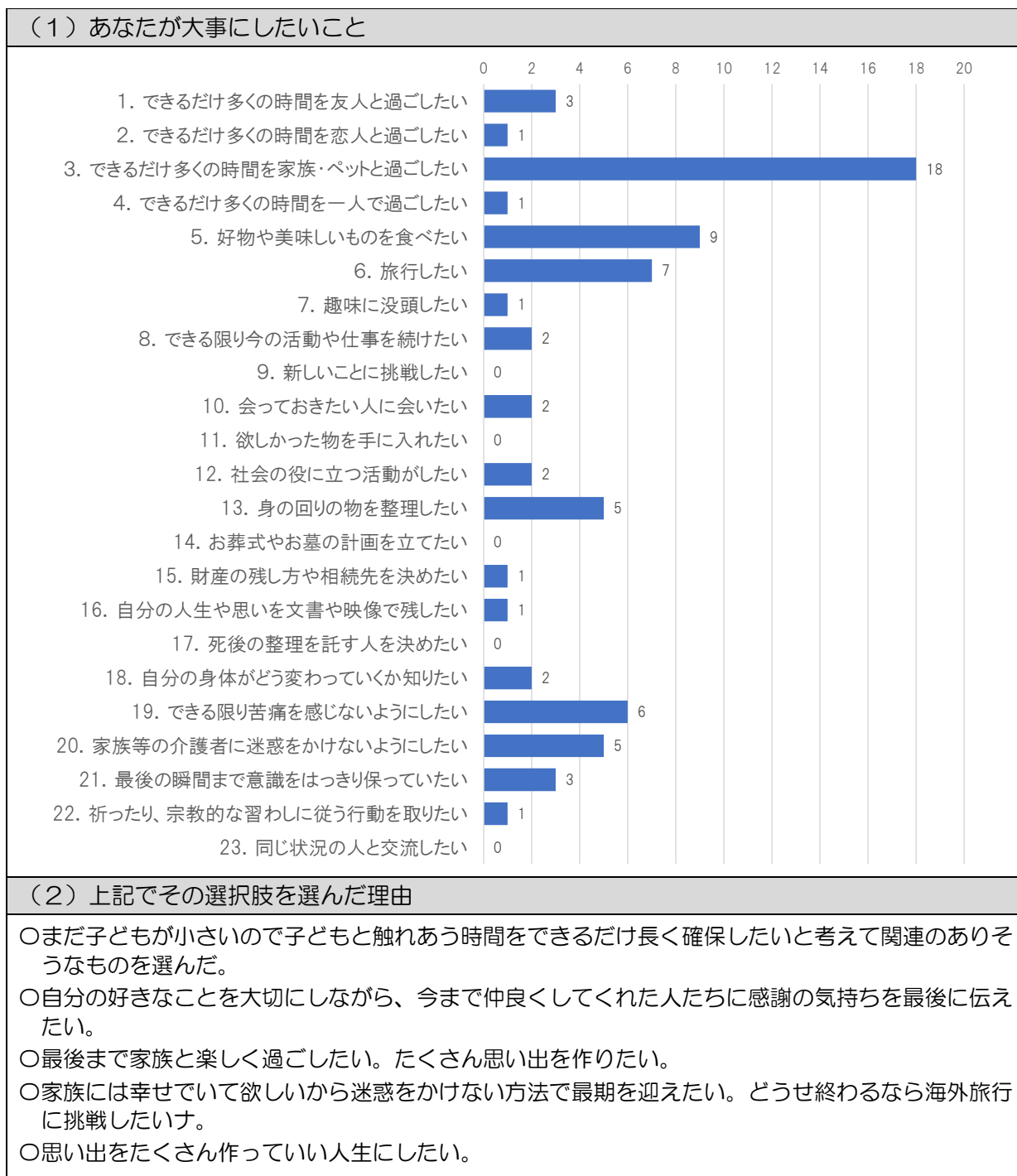
- 視聴者の年齢は「80代」が最も多く、60代以上が全体の9割弱を占める。
- 性別も「女性」が9割弱を占める。
- 動画を視聴して良かったと思いますかという質問に対しては、「そう思う」が8割弱、「ややそう思う」が2割弱となっており、ほとんどの人が良かったと答えている。
- アンケートの欄外には、「音声聞きづらかったのが残念」という記載が3件あり、動画の使い方や音声については今後改善する必要があることが明らかになっている。



▼パネル展示で集めた声 ～最期を迎えるにあたって優先したいこと【参考】

その他、日野市役所（3-2-1①）では、パネル展示の中で在宅療養を考えるきっかけとして『もし「寿命はあと〇か月です」と告げられたらあなたは何を優先しますか？最も近いと思うものを最大4つ選んで投票して（該当する選択肢の投票欄にシールを貼って）ください。』という問いかけを行っている。その結果を以下に示す。

- 「できるだけ多くの時間を家族・ペットと過ごしたい」が一番人気。
- 具体的には、「家族と楽しく過ごしたい」「思い出をたくさん作りたい」「迷惑をかけない方法で最期を迎えたい」など。



3-2-6 関係者の声

福祉用具の展示（3-2-4）に協力いただいた3事業所に実施後の手ごたえについてヒアリングを行った。その結果を以下に示す。

▼ヒアリング結果

- 来場者の反応は良好だった、来場者一人一人にゆっくり対応することができたとの声あり。
- 一方で、来訪者数が少なかった点を今後の課題として指摘する声もあり、開催方法や周知の面から集客を改善できると良いという声もあり。
- また、今回の取組をきっかけに、ウィーク期間中の取組を継続する、新たに展示会や勉強会を開催するというアイデアも出てきている。

(1) 来場者の反応	
ひまわり館	○日野市在宅療養ウィークをきっかけに、今後のこと（介護する側・される側いずれも）を考えるいい機会となったとお声を多くいただきました。
	○両親は要介護ではないのだが、退院したばかりでリーフレットを見て見学に来た。とても良い勉強になりました。
りんりん	○両親共に八王子在住だが、私（娘様）は日野なので歩行関連に興味があり見に来ました。実際に両親に情報をフィードバックできそうです。
	○セニアカーに興味があった。実際に触れられて良かった。
パナソニック	○特にありませんでした
(2) 今回の市の取組に関する意見	
ひまわり館	○事業所で来客対応をおこなうため、時間や場所の制限がなくお一人おひとりに対してゆっくりと対応できることは良い点かと思いました。
	○例年のイオンモールの会場での開催とは違い、スポットでの集客がなかなか難しいように感じました。介護に興味ある方、そうでない方でも気軽に来場できることを考慮すると商業施設などの会場での開催が集客の点で言えば利点であるかと思います。
りんりん	○地域の皆様に関心を持っていただく良い機会になったと感じております。今後も継続的な周知の機会があると、さらに理解が深まるのではないかと思います。
	○この取組をさらに広く知っていただきたいと感じました。
パナソニック	○初めての試みとの事で、当店への来店者は少なかったと感じています。
(3) その他の意見	
ひまわり館	○福祉用具事業所としての意見となってしまいますが、多くの方に気軽に用具を知っていただけるよう、今後展示会や福祉用具勉強会などの開催などはいかがでしょうか。
りんりん	—
	○「在宅療養」という言葉は伝わりにくかった。
パナソニック	○普段、スペースの関係でベッドの展示をしていませんでした。もうしばらく展示しておこうと思います。

4 多職種連携ルールの更新

4-1 作業の概要

日野市では、医療・介護の関係機関の連絡先や多職種間での基本的な連絡の仕方、連絡用の書式をまとめた「多職種連携ガイド」を平成26年4月に作成している。令和元年度（平成31年度）には、「顔の見える関係づくり」で築いた繋がりを実務に活かしやすいよう、連絡方法や希望する時間帯、提供すべき情報等の望ましい連絡の取り方を職種別にまとめた「エチケット集（暫定版）」を作成し、内容の更新・拡充を図っている。

令和7年度は、「多職種連携ガイド」を含めた連携ツールが作成から10年以上が経過したことを踏まえて、各ツールのその使用状況や日野市の連携に関する課題等を確認するアンケートを実施して、今後の方向性を検討するための材料を整理した。

▼アンケート調査の概要

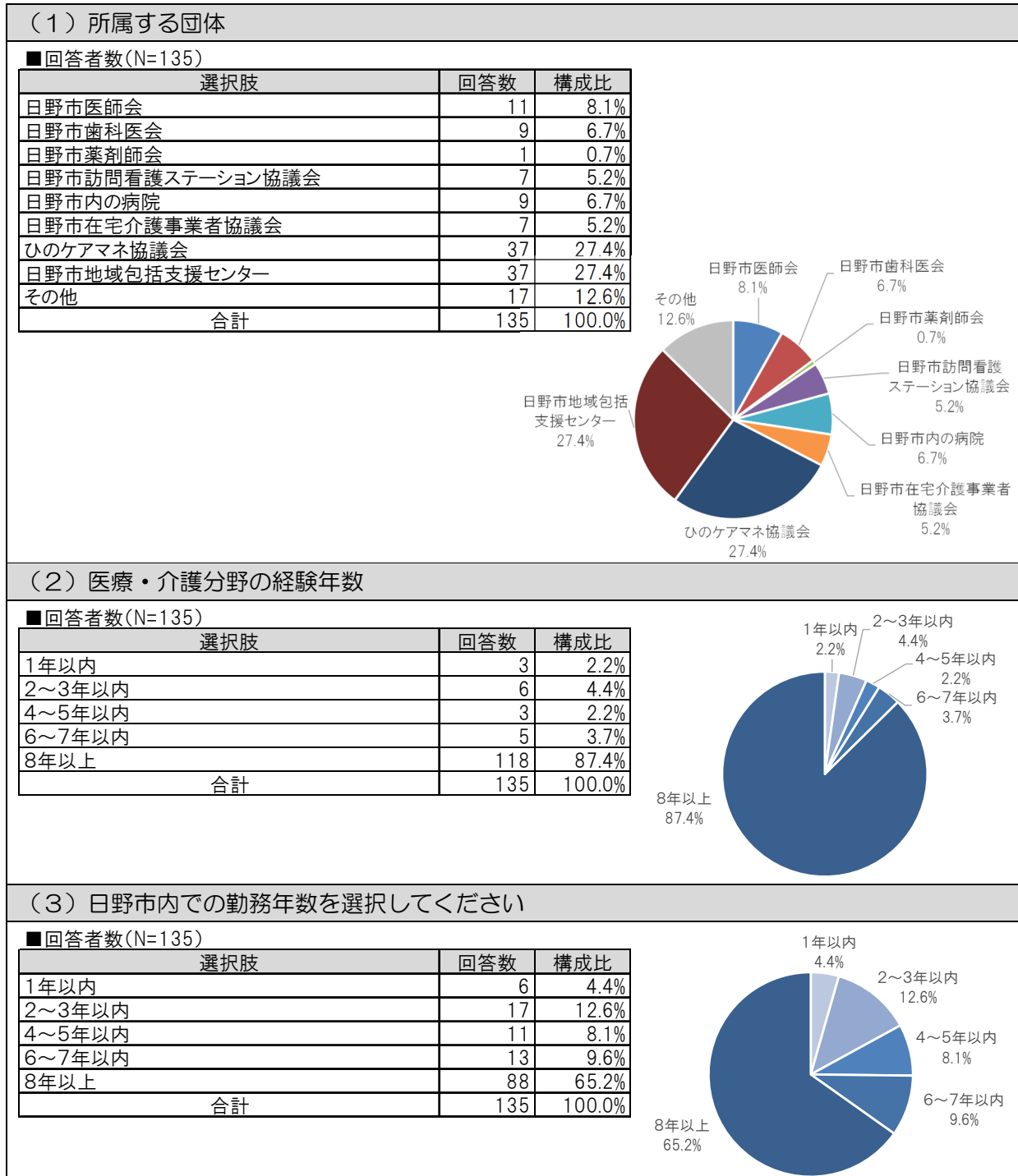
調査目的	○作成から10年以上が経過した連携ツールの今後の方向性を検討するために、その使用状況や日野市の連携に関する課題を確認することを目的とする
調査対象	○市内の医療職・介護職 ○最終的に135件の回答を収集
調査時期	○8月14日（木）～10月10日（金） ・当初は9月19日（金）までの約1か月を調査期間に設定していたが、最終的に調査期間を上記まで延長
調査方法	○WEB アンケート ・MCS（162アカウント）やケア倶楽部（約700アカウント）を通じて周知 ・その後、医師会、ケアマネ協議会等の職種団体を通じて追加の協力依頼を実施
調査項目	○回答者属性 ○日野市における「医療と介護の連携に関する課題」について伺います ○日野市の「介護と医療の連携シート」について ○「MCS（メディカルケアステーション）」について ○日野市の「多職種連携ガイド」について

4-2 ルールの更新内容

令和7年度は、前述の通り「多職種連携ガイド」等の具体的な更新作業は行っていないことから、ここでは、アンケート結果の概要とそこから導かれる今後の方向性（案）をしめす。

▼回答者属性

- 職種は、医療職が合計37票（27.4%）、「ケアマネジャー」と「包括支援センター」が同じく37票、残る2割弱は「日野市在宅介護事業者協議会」「その他」となっている。
- 医療・介護分野の経験年数は「8年以上」というベテランが9割弱。
- 日野市内での勤務年数も「8年以上」が6割強。



▼日野市における「医療と介護の連携に関する課題」について

- 特に医療系の職種（診療所（外来）、病院（外来、病棟）等）で連絡が取りづらい傾向。
- 連絡が取りづらいと感じる理由で多いのは、「いつ連絡をすれば良いか分からない」「やり取りに時間がかかる（すぐに回答がほしい）」。
- 連絡が取りやすい職種とのやり取りの基本は「電話」。

(1) やり取りする機会が多く連携がしやすい（連絡を取りやすい）職種 ／ (2) 連携する必要性が高いけれど連携がしづらい（連絡を取りづらい）職種

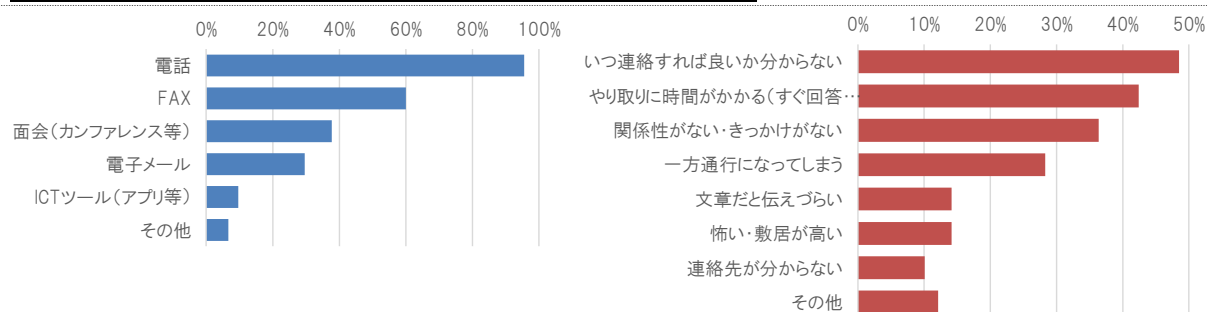
■ 回答者数(N=135)	(1)		(2)		0% 20% 40% 60% 80% 100%
	回答数	構成比	回答数	構成比	
診療所(外来)	29	21.5%	56	41.5%	
診療所(訪問)	66	48.9%	20	14.8%	
歯科診療所(外来)	10	7.4%	25	18.5%	
歯科診療所(訪問)	25	18.5%	8	5.9%	
調剤薬局(外来)	29	21.5%	13	9.6%	
調剤薬局(訪問)	54	40.0%	6	4.4%	
訪問看護ステーション	87	64.4%	8	5.9%	
病院(連携室)	84	62.2%	10	7.4%	
病院(外来)	17	12.6%	66	48.9%	
病院(病棟)	10	7.4%	47	34.8%	
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	85	63.0%	6	4.4%	
訪問介護事業所(ヘルパー)	73	54.1%	2	1.5%	
通所介護事業所(デイ等)	77	57.0%	4	3.0%	
介護保健施設(特養・老健等)	56	41.5%	7	5.2%	
包括	85	63.0%	4	3.0%	
行政	51	37.8%	20	14.8%	
特にない	3	2.2%	36	26.7%	
その他	1	0.7%	1	0.7%	
合計	135	100.0%	135	100.0%	

(3) 上記で選択した職種とやり取りをした方法

■ 回答者数(N=135)		
選択肢	回答数	構成比
電話	129	95.6%
FAX	81	60.0%
電子メール	40	29.6%
ICTツール(アプリ等)	13	9.6%
面会(カンファレンス等)	51	37.8%
その他	9	6.7%
合計	135	100.0%

(4) 上記で選択した職種と連携がしづらい（連絡を取りづらい）と感じる理由

■ 回答者数(N=99)		
選択肢	回答数	構成比
連絡先が分からない	10	10.1%
いつ連絡すれば良いか分からない	48	48.5%
文章だと伝えづらい	14	14.1%
関係性がない・きっかけがない	36	36.4%
怖い・敷居が高い	14	14.1%
やり取りに時間がかかる(すぐ回答が欲しい)	42	42.4%
一方通行になってしまう	28	28.3%
その他	12	12.1%
合計	99	100.0%

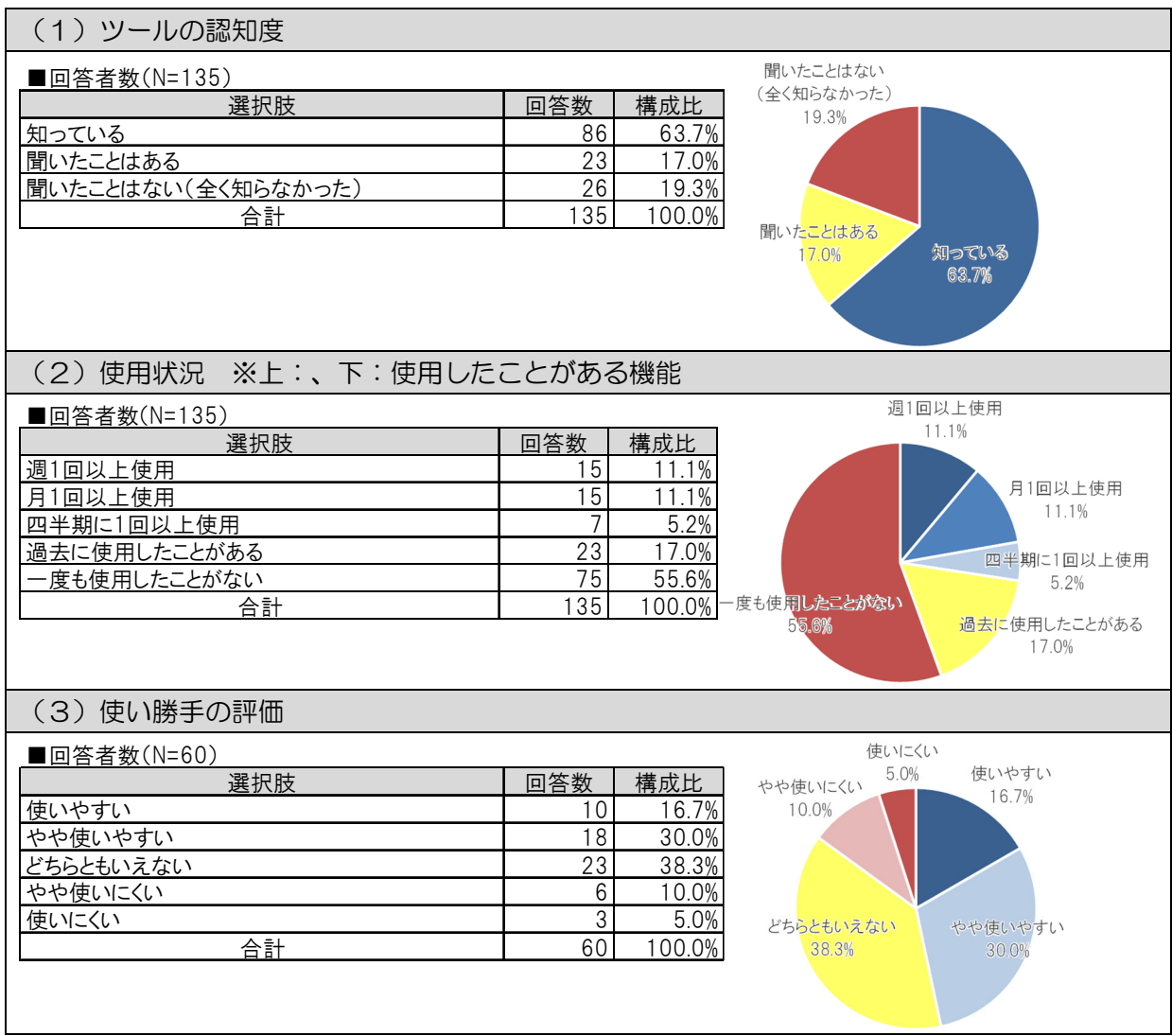


▼日野市の「介護と医療の連携シート」について 1/3

- 以降に掲載する3つのツールの使用頻度や使い勝手を比較すると、MCS≫連携ガイド>連携シートの順に評価が高い。

(1) ツールの認知度																						
(連携シートについては認知度を確認する問なし)																						
(2) -1 使用状況 ※上：シートを送付する頻度、下：シートを受領する頻度																						
<p>■回答者数(N=135)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週1回以上送付</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>月1回以上送付</td> <td>12</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>四半期に1回以上送付</td> <td>6</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>過去に送付したことがある</td> <td>41</td> <td>30.4%</td> </tr> <tr> <td>一度も送付したことがない</td> <td>76</td> <td>56.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>135</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		選択肢	回答数	構成比	週1回以上送付	0	0.0%	月1回以上送付	12	8.9%	四半期に1回以上送付	6	4.4%	過去に送付したことがある	41	30.4%	一度も送付したことがない	76	56.3%	合計	135	100.0%
選択肢	回答数	構成比																				
週1回以上送付	0	0.0%																				
月1回以上送付	12	8.9%																				
四半期に1回以上送付	6	4.4%																				
過去に送付したことがある	41	30.4%																				
一度も送付したことがない	76	56.3%																				
合計	135	100.0%																				
<p>■回答者数(N=135)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週1回以上受領</td> <td>1</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>月1回以上受領</td> <td>6</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>四半期に1回以上受領</td> <td>4</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>過去に受領したことがある</td> <td>23</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>一度も受領したことがない</td> <td>101</td> <td>74.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>135</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		選択肢	回答数	構成比	週1回以上受領	1	0.7%	月1回以上受領	6	4.4%	四半期に1回以上受領	4	3.0%	過去に受領したことがある	23	17.0%	一度も受領したことがない	101	74.8%	合計	135	100.0%
選択肢	回答数	構成比																				
週1回以上受領	1	0.7%																				
月1回以上受領	6	4.4%																				
四半期に1回以上受領	4	3.0%																				
過去に受領したことがある	23	17.0%																				
一度も受領したことがない	101	74.8%																				
合計	135	100.0%																				
(2) -2 送付したことがあるシート/受け取ったことがあるシート																						
<p>■回答者数(N=59)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネジャー紹介用シート</td> <td>15</td> <td>25.4%</td> </tr> <tr> <td>一般用シート</td> <td>35</td> <td>59.3%</td> </tr> <tr> <td>入院時情報提供用シート</td> <td>19</td> <td>32.2%</td> </tr> <tr> <td>退院時情報提供用シート</td> <td>4</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>3</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		選択肢	回答数	構成比	ケアマネジャー紹介用シート	15	25.4%	一般用シート	35	59.3%	入院時情報提供用シート	19	32.2%	退院時情報提供用シート	4	6.8%	分からない	3	5.1%	合計	59	100.0%
選択肢	回答数	構成比																				
ケアマネジャー紹介用シート	15	25.4%																				
一般用シート	35	59.3%																				
入院時情報提供用シート	19	32.2%																				
退院時情報提供用シート	4	6.8%																				
分からない	3	5.1%																				
合計	59	100.0%																				
<p>■回答者数(N=34)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネジャー紹介用シート</td> <td>5</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>一般用シート</td> <td>19</td> <td>55.9%</td> </tr> <tr> <td>入院時情報提供用シート</td> <td>5</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>退院時情報提供用シート</td> <td>4</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>4</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		選択肢	回答数	構成比	ケアマネジャー紹介用シート	5	14.7%	一般用シート	19	55.9%	入院時情報提供用シート	5	14.7%	退院時情報提供用シート	4	11.8%	分からない	4	11.8%	合計	34	100.0%
選択肢	回答数	構成比																				
ケアマネジャー紹介用シート	5	14.7%																				
一般用シート	19	55.9%																				
入院時情報提供用シート	5	14.7%																				
退院時情報提供用シート	4	11.8%																				
分からない	4	11.8%																				
合計	34	100.0%																				
(3) 使い勝手の評価																						
<p>■回答者数(N=68)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使いやすい</td> <td>5</td> <td>7.4%</td> </tr> <tr> <td>やや使いやすい</td> <td>14</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>36</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>やや使いにくい</td> <td>9</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>使いにくい</td> <td>4</td> <td>5.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		選択肢	回答数	構成比	使いやすい	5	7.4%	やや使いやすい	14	20.6%	どちらとも言えない	36	52.9%	やや使いにくい	9	13.2%	使いにくい	4	5.9%	合計	68	100.0%
選択肢	回答数	構成比																				
使いやすい	5	7.4%																				
やや使いやすい	14	20.6%																				
どちらとも言えない	36	52.9%																				
やや使いにくい	9	13.2%																				
使いにくい	4	5.9%																				
合計	68	100.0%																				

▼「MCS（メディカルケアステーション）」について



▼日野市の「多職種連携ガイド」について

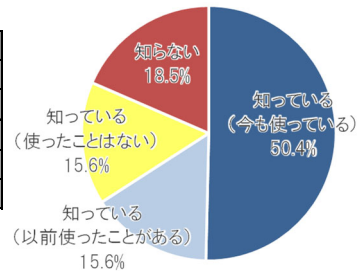
(1) ツールの認知度

※上：「日野市ケア倶楽部」の認知度

※下：「多職種連携ガイド」に他のDBにはないような詳しい情報が載っていることの認知度

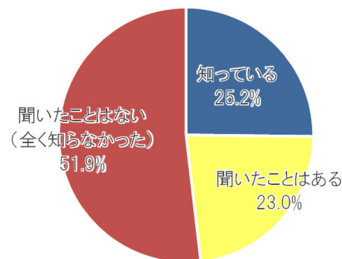
■回答者数(N=135)

選択肢	回答数	構成比
知っている(今も使っている)	68	50.4%
知っている(以前使ったことがある)	21	15.6%
知っている(使ったことはない)	21	15.6%
知らない	25	18.5%
合計	135	100.0%



■回答者数(N=135)

選択肢	回答数	構成比
知っている	34	25.2%
聞いたことはある	31	23.0%
聞いたことはない(全く知らなかった)	70	51.9%
合計	135	100.0%

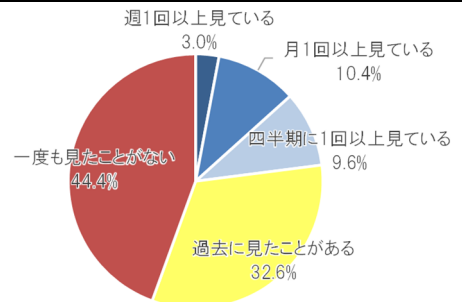


1

(2) 使用状況 ※上：、下：使用したことがある機能

■回答者数(N=135)

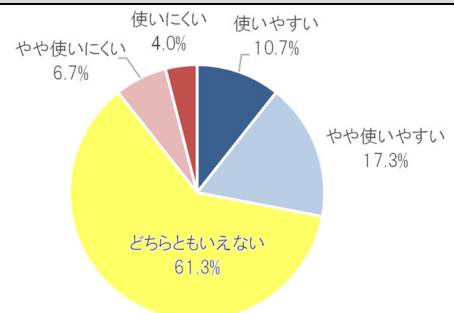
選択肢	回答数	構成比
週1回以上見ている	4	3.0%
月1回以上見ている	14	10.4%
四半期に1回以上見ている	13	9.6%
過去に見たことがある	44	32.6%
一度も見たことがない	60	44.4%
合計	135	100.0%



(3) 使い勝手の評価

■回答者数(N=75)

選択肢	回答数	構成比
使いやすい	8	10.7%
やや使いやすい	13	17.3%
どちらともいえない	46	61.3%
やや使いにくい	5	6.7%
使いにくい	3	4.0%
合計	75	100.0%



▼今後の方向性（案）

<p>介護と医療の連携シート</p>	<p>○使う人は月に数回使用／自由記述では具体的な改善点の指摘が多いツール。 ○認知状況については、積極的に活用している／もっと活用していきたい、シートの存在そのものが知られていないことがある、シートの活用方法や効果が理解できれば使用頻度も上がりそう等の声あり。 ○改善点については、内容を簡素化（○×形式や☑形式等）してほしい、厚生労働省の推奨書式等を参考に内容を見直しても良いのではないか、マニュアルをより具体的な内容に見直してほしい（特に「ねらい」を明確に）等の声あり。 ⇒シートの意義や活用方法を改めて周知し、認知度向上を図る ⇒検討部会でマニュアルや書式の内容を改めて確認し、必要に応じて修正等の検討を行う</p>
<p>MCS</p>	<p>○最も使い勝手の評価が高い／自由記述でも期待する声が多いツール。 ○認知状況については、電話以外の連携方法として必要なツールだと思う、活用する機会が増えると良いと思う、便利なようだが使いこなせるか心配／使いこなせない等の声あり。 ○改善点については、情報量が多すぎて確認することが大変、その性質から既存の連携手段に取って代わることは難しい、テンプレートが用意されていると助かる等の声あり。 ⇒以下のような取組を通じてツールの一層の利用促進を図ることが考えられる。 ー勉強会等の場を通じて検討部会で作成した「ルール」（2021年度作成）の再周知を行う ーMCS を活用すると良い場面例や、実際の活用事例等を収集・整理し、その内容について勉強会等を通じて発信する</p>
<p>多職種連携ガイド</p>	<p>○使い勝手は良いが使用頻度はやや低い／自由記述の言及が最も少ないツール。 ○認知状況については、今まで使用したことがない、ウェブ版があることを知らなかった、今後利用してみようと思う等の声あり。 ○改善点については、情報が古い、開設・閉鎖情報があると良い（システムの都合上、対応が難しい）、サイトが利用しづらい・検索しづらい等の声あり。 ⇒上記の内容は現状のシステムの都合上、改善が難しい事項も多いことから、今後は可能な範囲で改善の検討を行い、勉強会等で改めて周知を図ることが考えられる。</p>

(このページは白紙です)

5 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

5-1 情報提供の実施状況

「国、東京都・他自治体の取組等の情報提供」では、検討部会の検討内容にあわせて必要な情報の収集・提供を行っている。

令和7年度の検討部会では、地域住民への普及啓発に関連して、自宅でも離れて暮らす家族でも情報を収集できる手段の1つとして市ホームページ等を有効活用した情報発信のあり方について検討を行った。その中で、現在のホームページに掲載している情報を改めて確認すると以下のような課題が明らかになったことから、これを改善する手掛かりとして行政ホームページ等を通じてうまく情報提供を行っている事例を収集した。

- 部会に最も関連が深い情報は「在宅療養について」に掲載されているが、かなり深い階層にあるため、ここまで辿り着くのが難しい（トップページから4階層下）
- 「在宅療養について」では、ある程度体系的に情報提供ができていますが、1ページに多くの情報を集約する形になっているため誰向けの情報かが分かりにくくなっている
- その他、在宅療養に関連する情報（医療・健康づくり、介護、その他の福祉制度等）が各所に散らばっており、それぞれを個別に調べないとたどり着けない

▼【参考】「在宅療養について」ページに掲載されている情報

在宅療養について	
「在宅療養」とは？	
在宅療養について動画で紹介しています	
在宅療養とは	知っていますか「在宅療養」(外部リンク/YouTube)
元気なうちから知っておきたい介護と医療の話	日野市在宅療養講座「元気なうちから知っておきたい介護と医療の話」(外部リンク/YouTube)
日野市在宅療養ガイドブック	日野市在宅療養ガイドブック (PDF 15.5MB)
在宅で療養するための準備	
1.「かかりつけ医」を持ちましょう	
かかりつけ医	日野市医師会ホームページ(外部リンク)
かかりつけ歯科医	かかりつけ歯科医を紹介(歯科訪問診療)
かかりつけ薬剤師・薬局	かかりつけ歯科医を紹介(歯科訪問診療)
2.相談窓口を利用しましょう	
在宅療養全般に関する相談	在宅療養高齢者支援窓口
介護サービスに関する相談	高齢者のほっとあんしん相談所『地域包括支援センター』
医療関係者、介護関係者の方向けの相談窓口	日野市在宅療養支援センター
医療ソーシャルワーカーによる電話相談(2025年度)	医療と暮らしのほっとライン(一般社団法人東京都医療ソーシャルワーカー協会)(外部リンク)
患者様とご家族のための相談窓口	患者の声相談窓口(東京都保健医療局)(外部リンク)
医療機関や介護サービス事業所等を探したい	
市外医療機関も含め検索できます	介護サービス情報公表システム(厚生労働省)(外部リンク)
在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院一覧	在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院一覧(R7.7月時点)(PDF 839.1KB)
自宅で療養中の方へ	
日野市立病院に入院できる病床を確保しています	在宅療養高齢者一時入院支援
在宅療養を支える専門職の方へ	
医療と介護の連携推進に取り組んでいます	医療と介護の連携ツール
多職種顔の見える関係を構築するために	
「医療と介護の連携推進勉強会」を開催しています	
日野市在宅高齢者療養推進協議会・検討部会を設置しています	
医療と介護の連携推進業務報告	

▼日野市ホームページの掲載情報【参考】

- 第1階層
- 第2階層: 全てのページを抽出
- 第3階層: 関連する情報が掲載されたページのみを抽出
- 第4階層: 原則として関連する情報が掲載されたページのみを抽出 / 「高齢者の支援」内のみぶらさがる全てのページを抽出
- 第5階層: 「地域の高齢者を支援する市の取り組み」内の全てのページを抽出

※関連する情報のツリーを彩色して表示(■在宅療養に関する情報、■関連するその他の情報、■左の2種の情報へのリンク)

トップページ

- 暮らし・手続き
 - 国保・後期高齢・年金
- 健康・医療・福祉
 - 各種健診・予防接種・相談
 - 健康診査
 - 検診
 - 歯の健診・相談・訪問診療
 - 感染症・予防接種
 - 健康相談・こころの相談
 - 医療機関案内
 - 在宅療養
 - 健康づくり・食育
 - 運動
 - 食育
 - 歯・口腔
 - 高齢者の支援
 - 高齢者のほっとあしん相談所「地域包括支援センター」
 - フレイル予防(高齢者の健康づくり)
 - 認知症の方を支える取組み・高齢者を虐待から守る取組み
 - 長寿祝品・祝状の贈呈
 - 高齢者・ご家族様向けの生活支援サービス一覧
 - 身障高齢者機能回復助成(マッサージ券)
 - ねたきり高齢者理容・美容利用券交付事業
 - 在宅ねたきり高齢者等おむつ給付事業
 - 高齢者補聴器購入費助成について
 - 高齢者民間住宅家賃助成
 - 高齢者向け優良賃貸住宅(シルバーハイツやなか)の空室募集について
 - 高齢者自立支援住宅改修給付事業
 - 東京都シルバーパス発行
 - 暮らしのサポート
 - 地域の高齢者を支援する市の取り組み
 - 見守り関連情報メール配信
 - 地域ケア会議について
 - 【結果報告】「新型コロナウイルス感染症流行による暮らしへの影響および災害時における要支援者の把握を目的としたアンケート」への協力ありがとうございました
 - 【結果報告】「日野市個別避難計画」作成の事前アンケートへのご協力ありがとうございました
 - 公益社団法人 日野市医師会と「地域包括的連携協力に関する協定」を締結しました
 - 暑い日の外出時にはクールスポットを利用しましょう!
 - 日野市の避難行動要支援者対策事業をご紹介します
 - 日野市高齢者見守り支援ネットワークのご案内
 - 在宅療養について
 - 「もしものとき」について話し合おう(人生会議)
 - 在宅療養高齢者支援窓口
 - 日野市在宅療養支援センター
 - 自宅療養中の方に病床を確保しています
 - 医療と介護の連携ツール
 - 地域のたまり場「ふれあいサロン」をご紹介します
 - 地域でお互いが気にかけてあげよう関係づくりのために「あれ?」と思ったらご連絡ください!
 - 老人クラブ
 - 講座・イベント案内
 - コロナ禍における高齢者の見守りや交流の取組紹介
 - 介護マークをご存じですか
 - 日野市高齢者憲章について
 - 9月は「認知症を知る月間」わたしたちの行動で地域の輪を創ろう!
 - 介護保険
 - 日野市内特別養護老人ホーム入所について
 - 介護保険の仕組みと利用の手順
 - 利用できるサービス
 - 介護保険サービス事業者の方へ
 - よくあるご質問
 - 介護人材の確保
 - 障害のある方、難病の方への支援
 - 相談窓口
 - 日野市障害福祉ガイド
 - 障害のある方へのサービス、制度
 - 医療的ケアのある方へのサービス、制度
 - 難病
 - 障害福祉サービス事業者の方へ
 - 生活福祉・地域福祉
 - 福祉有償運送
 - 介護保険事業者等について
 - 市立病院・医療機関
 - 市立病院
 - 医療施設
- 子ども・子育て・教育
- 文化・スポーツ
- 産業・仕事
- 市政情報
 - 手続き検索 : カテゴリやキーワード、申請方法、担当課からサイト内で該当する情報を表示することができる
 - 健康・医療・福祉 : 左記の同分野に該当する117件の情報(へのリンク)を掲載
- 暮らしの情報
 - 高齢者・介護 : 「健康・医療・福祉」及び「暮らし・手続き」国保・後期高齢・年金」にぶら下がる情報へ
 - おくやみ
 - インターネットでもご予約いただけます。(外部リンク)
 - 日野市おくやみ手続きガイド(外部リンク)
 - おくやみハンドブック(PDF 986.4KB)
 - 手続き
 - 助成・給付
 - 葬儀
- 目的から探す : トップページ分野とは別の切り口から必要な情報(へのリンク)を表示する
 - いざという時に : 「暮らし・手続き」安全・安心 > 救急・医療・応急手当」にぶら下がる情報へ
 - 市民相談 : 「暮らし・手続き」住まい・生活 > 市民相談」にぶら下がる情報へ
 - 健康づくり : 「健康・医療・福祉」健康づくり・食育」にぶら下がる情報へ
 - 健康診査・検診 : 「健康・医療・福祉」各種健診・予防接種・相談」にぶら下がる情報へ
- イベント案内
- イベントカレンダー
- 施設案内
 - 福祉・介護施設
 - 医療施設
- 中央公民館
- カワセミハウス
- 日野市郷土資料館
- 新選組のふるさと歴史館
- Instagram投稿
- 広報ひの
- パブリックコメント
- プレスリリース
- 市議会
- 市議会
- 日野市 5つの誠
- オープンデータ
- よくある質問
- このホームページについて
- Other language

→ 「在宅療養について」の位置

5-2 情報提供の具体的な内容

収集した事例の中から、日野市の情報提供の形として見習うことができそうな「八王子市地域包括ケア情報サイト」「日野市おくやみガイド」の2つのWEBサイトを抽出した。

「八王子市地域包括ケア情報サイト」については、既存の日野市ケア倶楽部をベースに、医療施設や介護事業所等の情報が必要な人に向けて関連する情報を一緒に提供できるという点が評価できるポイントである。

「日野市おくやみガイド」については、死後の手続きという分野で既に日野市が取り組んでいる内容で、日野市HPに掲載している情報の中から必要なものを一覧にして抽出してくれるという点が評価できるポイントである。

▼収集した事例の概要

事例	事例のポイント
八王子市 地域包括ケア 情報サイト	<ul style="list-style-type: none"> • 日野市ケア倶楽部と同様の位置づけのWEBサイト（外部サイト） • 日野市ケア倶楽部でも対応している医療施設、介護事業所の検索のほか、地域の活動団体やイベント・講座等の検索ができる • さらに施設の検索に加えて、「基本チェックリスト」や市HPへのリンク掲載している • 「基本チェックリスト」では、心身の状態を簡易的に診断し、その状態にあわせてお勧めの施設や活動団体等の一覧を確認することができる
日野市 おくやみガイド	<ul style="list-style-type: none"> • 日野市が開設する死後に必要な手続きを確認できるWEBサイト（外部サイト） • アンケート形式で利用していた制度や、世帯の状況、財産やお住まいの状況等の条件を回答すると、必要な手続きとそれに対応した市HPのリンクの一覧を確認することができる

▼八王子市地域包括ケア情報サイト < <https://chiiki-kaigo.casio.jp/hachioji> >

八王子市 地域包括ケア情報サイト

基本チェックリスト 今の心身の状態を確認しましょう。

自分の生活や健康、心身の状態で満足しているか、チェックがあなたの今の心身を確認してみましょう。

▼キーワードから検索

▼カテゴリから検索

▼地区から検索

▼住所から検索

▼詳細情報

八王子市高齢者あんしん相談センター 旭町

高齢者あんしん相談センター

〒201-8502 八王子市旭町1-1-1

TEL 042-448-5331

FAX 042-448-5260

サービス情報

【八王子市高齢者あんしん相談センター 旭町】

高齢者あんしん相談センターは、高齢者のみなさんが安心して暮らすための相談窓口です。お住まいの地域の状況に合わせて対応いたします。

サービス内容

生活相談、介護相談、法律相談、福祉相談、生活相談、介護相談、法律相談、福祉相談

お問い合わせ先

TEL 042-448-5331

FAX 042-448-5260

基本チェックリストは、生活相談、介護相談、法律相談、福祉相談の向上、うつ病の改善、介護予防、ケアプラン作成

TOPへ戻る

▲トップページ

▲詳細情報ページ

▼心身の状態の簡易診断

「基本チェックリスト」で今の心身の状態を確認しましょう。

ご自身の生活を振り返りながら日常生活に関する質問に答えることで、自分では気づきにくい心身の倦怠を把握できます。あなたの今の心身の状態を確認し、改善しているおそれがあるところがあれば生活改善で機能の回復に努めましょう。

① 生活機能全般

② 運動の機能

③ 栄養状態

④ 口腔の機能

⑤ 認知力

⑥ 認知症

⑦ アラフ

診断結果をみる

▼日野市おくやみガイド < <https://tzk.graffer.jp/city-hino/okuyami> >

おくやみガイド

亡くなられた方に関して、ご家族の方などが行う行政手続きを洗い出します。

質問数の目安:

10～14問

回答時間の目安:

おおよそ3分以内

回答をはじめ

おくやみガイド

[< 1つ前に戻る](#)

[回答をやり直す](#)

質問の回答状況

住民登録についての質問

住民登録に関連して、以下のうち該当するものをすべて選択し、「次へ」を押してください。

- マイナンバーカード・住民基本台帳カードを持っていた
- 印鑑登録をしていた
- 3人以上の世帯の世帯主であった

該当なしのまま次へ

おくやみガイド結果

13件の手続きが必要です。



手続き場所
日野市役所



持ち物リスト

1階 市民窓口課

死亡届

最初にやりましょう



マイナンバーカード・住民基本台帳カードの返却



1階 保険年金課

国民健康保険、後期高齢者医療保険 被保険者証の返却



国民健康保険、後期高齢者医療保険 葬祭費の申請

書式あり 郵送可



国民健康保険、後期高齢者医療保険 高額療養費の申請（未支給分）

書式あり 郵送可



国民健康保険、後期高齢者医療保険 相続人による送付先変更届の提出

書式あり 郵送可



国民年金に関する手続き

書式あり



1階 資産税課

固定資産現所有者申告書の提出



2階 介護保険課

証書の返却または破棄



(このページは白紙です)

6 次年度の取組方針の検討

6-1 検討部会の開催

令和7年度の「検討部会」は、在宅医療と介護連嶺における課題に対応した連携推進勉強会について検討したほか、「日野市の在宅療養を知るウィーク」の企画検討や連携ツールの見直しなど新しい試みを行っている。

令和8年度は、新しく始めたこうした活発な議論を行いながら、引き続き在宅医療と介護連嶺における課題の整理や取組みの検討を進めることが求められる。具体的には、検討部会委員の特に関心の高いテーマを取り上げて、連携推進勉強会等の企画検討と絡めながら、現場の抱える課題に対応した実践的かつ効果的な施策について検討することを想定する。

<検討部会の進め方(案)>

- 年4回開催する(予定)
- 前年度からスタートした連携ツールの見直しをはじめ、これまで進めてきた医療と介護の連携や在宅療養の普及啓発等に関する取組の改善を進める
- これと並行して、日野市高齢者福祉総合計画に向けて既存の取組の評価を行い、検討部会として今後取り組むべき課題の提出や具体的な検討を進める

6-2 多職種協働による連携推進勉強会の開催

令和7年度の連携推進勉強会では、勉強会や検討部会の中で多数の意見が寄せられていた「看取り」を柱に勉強会の企画、開催に取り組んだ。また、第1段階の勉強会については、“顔の見える関係づくり”を促進する名刺交換タイムを設けて参加者からも好評を得ることができた。

令和8年度は、引き続き各回に共通するテーマ性を持った勉強会を企画・開催することで多職種連携の質の向上を図るとともに、連携の輪を広げるために新しい参加者の獲得に努めることとする。

<勉強会・研修会の進め方(案)>

- 概ね3か月に1度の頻度で、合計3回の勉強会を開催する
- 各会の内容は以下を想定し、連携ツールの周知・改善等の共通するテーマや仕掛けを設けることを想定する
 - ー多職種がざっくばらんに情報交換を行う第1段階勉強会(基本パターン)*2回
 - ー特定の課題や症例、職種にフォーカスした第2段階勉強会
(過去に開催した勉強会との継続性に留意する)
- さらに、新しい参加者を獲得するための動画(勉強会の様子を紹介する短い動画)の作成や、圏域別勉強会との連携などの新しい取組の実施も想定する

6-3 地域住民への普及啓発の実施

令和7年度は、3月に「日野市の在宅療養を知るウィーク」を開催し、時間やお住まいの場所にとられない新しい普及啓発のあり方を模索した。ここで実施した、動画を活用した情報発信やミニ講演会等の取組については、大きな可能性を感じる一方、まだまだ改善点も多いことから、令和8年度は、今年度の反省点を元に企画内容のブラッシュアップや、効率的な準備・運営に向けた内容の改善を以下の通り進めることとする。

- 市民との接点や情報量を拡大するための企画の拡充
- 動画やリーフレットを用いた普及啓発方策の確立
- PRの強化 等

また、毎年実施しているリーフレット「日野市在宅療養ガイドブック」の更新・増刷にあたっては、上記ウィークにあわせて作成した動画や、令和8年度診療報酬改定を反映した改訂を行うことを想定する。

6-4 多職種連携ルールの更新

令和8年度は、令和7年度に勉強会等の中で収集した「看取り」に関する課題や新しい取組のアイデアを、以下のような具体的なルールや取組の形に落とし込むことが求められている。

また、連携ツールについては活用状況や改善点を確認していることから、これを踏まえた見直しの検討を進め、勉強会等の場で関係者への周知・啓発を図ることとする。

- 例えば、MCSの利用拡大とこれにあわせた事業所毎の運用方針の検討支援
- 例えば、多職種連携ガイドの改訂にあわせたMCS等の活用状況の情報の反映
- 例えば、日野市版ACPシート及びその活用方法の検討 等

6-5 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

令和8年度の検討部会では、在宅医療と介護連携における課題について深掘りするような検討を行うことが想定される。そこで「国、東京都・他自治体の取組等の情報提供」については、検討部会の各回で議題になった／なる予定の内容について情報収集を行い、具体的な議論を進めるための材料を提供することとする。

- 例えば、日野市高齢者福祉総合計画の改定に関連した国や都の動き
- 例えば、連携ツールの見直しに関連した東京都多職種連携ポータルサイト（機能1 多職種連携タイムライン）の取組
- 例えば、地域ぐるみのACPや多職種が連携した地域BCP等の取組を行う地域の事例 等